

合格体験記 10

横浜市立大学 国際教養学部 進学

他の主な合格校： 東京女子大学 現代教養学部、 武蔵大学 社会学部(セ利)

1 志望校決定について

(センター試験までは東京都立大学を志望していましたが)、
センターリサーチの結果と倍率の変動を考えて、横浜市立大学を志望しました。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

小テストは毎回直前になって焦ってやっていたため、3年になってから苦労しました。
英単語は毎日少しでもやっておけばよかったなと思いました。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

センター直前期までは、計画をみっちり立てると達成できないと思ったので「今日は〇〇をだいたいここまで」と大雑把に決めてやっていました。

センター直前は、試験の日から逆算してどの教科も最低5年間は過去問が解けるように細かく計画を立てました。

数学など余白の使い方が大切な教科もあるため、実際の冊子と同じサイズで印刷して解いていました。

午前中は学校の廊下で勉強し、午後は塾の自習室で勉強しました。移動がいい気分転換になっていたと思います。

また、受験勉強を進めるうえで、自分が気になった事柄は多少勉強から離れていても調べるようにすることで、国語や英語で専門的な文章が出たときに理解しやすかったので、おすすめです。

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

第1志望の赤本を購入し、過去問をやらない日でも常にリュックに入れて合格したいという気持ちを高めていました。

(4) 模試の活用方法

理科基礎は模試ノートを作って、自分が間違えた問題をまとめていました。

特に生物基礎は自分の苦手な範囲が把握しやすいので、そこをまとめるのはとても効果があると思います。

(5) 予備校の活用方法

映像授業の塾に通っていました。

ただ、なんでもかんでも授業を取るのではなく、自分がいると思った講座だけ取っていました。また、自分には塾の自習室がとても集中出来る場所だったので、学校から移動して午後から夜 10 時まで毎日そこで勉強しました。

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

部活は運動部で、部活の友達と互いに励まし合いながら受験勉強に取り組めたのは本当に大きいと思います。

文化祭の準備は最後までやり通したことで勉強への切り替えにもなったし、何より高校生活のとてもいい思い出になりました。

(7) 後輩へのアドバイス

勉強したくない時は、資料集をぱらぱらと雑誌感覚で読んでみてください。私立入試では資料集にテーマごとに載っている所がそのまま出ることもあります。

小論文が受験科目にある人は、文字数に関係なく必ず先生に見てもらった方がいいです。

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

友達と高め合える環境があってよかったと思います。

何事も全力で楽しんだことでむさきたでの

3 年間に一生の思い出になりました。

(9) 合格した時の喜び

自分の番号を見つけて、うわああった！！ と家で叫びました。

母が泣いているのを見て、周りの人の支えなしではここまでやりきれなかったと感謝の気持ちでいっぱいになりました。